

# 危機管理部

## 危機管理課

### 1 危機管理の総合調整

#### (1) 令和5年度中の危機事象及び対応

- ア 「新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 対応」
- イ 「令和6年能登半島地震に伴う災害等支援本部事務局 対応」

### 2 防災対策

#### (1) 防災体制の整備

- ア 水防・防災合同パトロールの実施
  - [実施箇所] 藍地区武庫川水系丸岡谷川
  - [内容] 兵庫県担当者によるパトロール箇所の説明を受け、実態を把握。
- イ 市防災倉庫の整備
  - [設置箇所] 市防災倉庫（狭間が丘）、消防署西分署・東分署・総合福祉保健センター
  - [内容] 1 資機材の点検・補充  
2 食料・飲料、生活用品の点検・補充
- ウ 地域防災倉庫の整備
  - [設置箇所] 市内公立小中学校等(39箇所)
  - [内容] 設置備品数の点検、備品の損傷等の点検、発電機の可動点検、救急箱の内容物の点検・補充等
- エ 防災情報通信設備（J-アラート）の運用
  - [設置箇所] 市役所
  - [内容] 人工衛星及び地上回線を用いて弾道ミサイル情報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を国から住民まで瞬時に伝達するシステム。本市で受信した緊急情報を防災行政無線、エフエムさんだ、市役所内庁内放送により市民へ情報伝達する。
- オ 災害情報システムの運用
  - [設置箇所] 市役所、消防本部
  - [内容] 迅速な避難情報の発令判断を支援する機能や、市内全体の被災状況の把握、気象等の観測データ蓄積機能等を有し、効率的な災害対応を行う。
- カ 防災行政無線の運用
  - [設置箇所] 土砂災害警戒区域、浸水想定区域へ情報伝達する拠点となる公共施設、公民館・公会堂等
  - [内容] 親局（市役所）、補助局（消防本部）、拡声子局51基（公共施設等）、半固定局設備31台、車載型無線機10台、携帯型無線機10台
- キ 指定避難所の標識設置
  - [設置箇所] 指定避難所 37箇所
  - [内容] 災害時における避難対策として、指定避難所に標識を設置。

## (2) 市民への防災意識の啓発、地域防災体制の充実

### ア ハザードマップさんだ

[概要] 地図上に土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域や市指定避難所を表示。

紙面版では災害への備え方や避難方法等の防災啓発情報も掲載。

[紙面版]

- ・市全体版及び地区版 3,815 部配布(公共施設窓口、出前講座、転入者グッズ等で配布するために増版)

[Web 版]

- ・スマートフォン、タブレットやパソコンなどで目的の場所を簡単に詳しく表示できる Web 版ハザードマップさんだを構築し令和元年 12 月より公開開始。
- ・多言語化改修を実施し、英語版と中国語版を令和 2 年 4 月より公開

### イ さんだ防災・防犯メール

[概要] 市民が安心して暮らせるよう、市内で発生した緊急事態などの情報を携帯電話のメールで登録者に一斉にお知らせする情報配信サービスを実施。

[登録者数] 緊急情報 16,186 件 お知らせ情報 14,859 件 (R6. 3. 31 現在)

### ウ 市政出前講座

防災「いざという時に備えて」、防災「図上訓練 HUG」、防災「クロスロード」合計 21 件

### エ 地域防災リーダーとの連携

- ・兵庫県広域防災センターが主催する、ひょうご防災リーダー講座の周知啓発。
- ・さんだ防災リーダーの会(市内在住、在勤のひょうご防災リーダー、防災士で構成)に地域版防災マップの作成指導や防災訓練等への参加、市指定避難所防災倉庫の点検等、啓発業務での連携。

### オ 地域減災活動推進事業(地域版防災マップ作成支援)

- ・地域版の防災マップを作成する地域を選定し、そのノウハウを各地に広げ、減災のまちづくりの推進を図っていく。

令和 5 年度までの作成地域数 40 地域

[令和 5 年度 地域版防災マップ作成地域]

地域	地区名
虫尾区	三輪地区
桜ヶ丘区	三輪地区
成谷区	三輪地区

### カ 避難行動要支援者支援制度の推進

災害対策基本法に基づき、災害時の避難行動に何らかの支援を要する人(要支援者)を市が登録し、各地域での支援体制を構築していくため、区・自治会等との協定を推進し、同意を得た要支援者に係る名簿提供を行う。

制度周知及び避難行動要支援者名簿への登録の呼びかけ、地域の支援体制づくりへの支援を行った。(各数値は R6. 3. 31 現在)

(ア) 区・自治会との協定\* 締結数 178 区・自治会(締結率 99.4%)

\* 「三田市避難行動要支援者への支援及び名簿に係る個人情報の取扱いに関する協定書」

(イ)要支援者の登録状況

区分	人数	内訳
同意者	2,930人	市基準該当者 2,350人(※推定同意66人含む。) 任意登録希望者 580人
不同意者	1,693人	自力で避難可能 811人(47.9%) 同居人・近隣者から支援得られる 768人(45.4%) プライバシー保護 52人(3.1%) その他 62人(3.6%)
計	4,623人	

キ 自主防災組織の育成

- ・令和5年度中の新規結成 0組織

[R6.3.31現在の組織数 計79組織(37,025世帯)]

(3)防災訓練の実施、参加

ア 防災訓練の実施

(ア)土のう作成・設置訓練(令和5年5月28日)

(イ)令和5年度原子力総合防災訓練への参加(令和5年10月20日,21日)

(ウ)災害対策本部事務局設置訓練(令和5年6月29日)

(エ)三田市総合防災訓練(令和5年11月11日)

[場所]志手原小学校

[内容]初期消火訓練、被害状況確認訓練、避難訓練、避難所開設受付訓練、救出救助訓練等を関係機関と連携実施。

(オ)避難所運営班対象防災研修会(HUG)(令和5年6月22日,令和6年3月7日)

イ 自主防災組織、関係機関が実施する防災訓練への支援

実施時期	訓練名称
6月	波豆川自主防災会 防災訓練
7月	つつじが丘南1丁目 防災訓練
	けやき台防災訓練
10月	学園南町自治会自主防災会、トーカンマンション新三田自主防災会、三輪希望が丘自主防災組織、けやき台自主防災会 防災訓練
11月	ゆりのき台自治会、富士小学校区、弥生が丘地域、狭間が丘地域、つつじが丘・藍地区合同 防災訓練、あかしあ防災フェスタ
1月	松が丘小学校区 防災訓練
3月	武庫小学校区 防災訓練

(4)令和6年能登半島地震被災地・被災者への支援

ア 避難所運営職員派遣(石川県珠洲市)

期間	人数	用務
令和6年1月29日~2月3日	2人	避難者のニーズ調査・支援を行うため各避難所を巡回等

令和6年3月18日～3月24日	2人	避難者のニーズ調査・支援を行うため各避難所を巡回等
-----------------	----	---------------------------

イ 家屋被害認定調査職員派遣（石川県珠洲市）

期間	人数	用務
令和6年2月3日～2月8日	2人	家屋被害認定調査
令和6年2月6日～2月12日	2人	家屋被害認定調査

3 安全・安心(防犯)まちづくり推進事業

- (1) 暴力団等追放三田市民の会、三田防犯協会への補助
- (2) 市内の各交番で発行される交番だよりを市ホームページへ掲載
- (3) 暴力団排除条例に基づき、市の契約や公の施設の使用等において確認
- (4) 市所管の防犯灯の維持管理 405灯＋地域防犯灯移管約8,000灯
- (5) 防犯カメラの運用・管理
  - ア 駅付近等の公共空間への設置  
平成24年度～令和5年度 合計13基
  - イ 区・自治会での設置  
平成26年度～令和5年度 合計24基
  - ウ 平成29年度 各小学校区の通学路等への設置（10基×20校区＝200基）  
令和2年度に8基新設 合計208基

4 交通安全施策の企画及び推進

- (1) さんだ交通白書の作成
- (2) 交通安全教育の推進  
三田市交通指導員が中心となって保育園、幼稚園、小・中学校、高齢者グループ等で交通安全教室を行った。

[交通安全教室の実施回数(のべ)]

年度	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高校	子育てセンター等	老人クラブ	その他	計
1	11	21	21	9	0	4	11	1	78
2	5	11	6	3	1	0	7	1	34
3	7	12	12	5	0	3	0	0	39
4	8	22	26	5	0	3	0	0	64
5	9	22	27	8	0	0	8	0	74

(3) 三田市交通安全対策委員会の活動

委員会は、市、県、警察署、交通安全協会、自家用自動車協会、市内の各種団体等で構成。交通安全運動期間を中心に啓発活動を実施するとともに、小・中学生へ交通安全意識の向上を図るため交通安全ポスターの募集を行った。

ア 交通安全運動期間中の啓発活動

運動名	運動期間	啓発場所及び内容
春の全国交通安全運動	5月11日～ 5月20日	・三田駅周辺(市・警察署・交通安全協会)で街頭啓発キャンペーン実施
夏の交通事故防止運動	7月15日～ 7月24日	・三田駅周辺(市・警察署・交通安全協会・兵庫ブルーサンダーズ)で街頭啓発キャンペーン実施
秋の全国交通安全運動	9月21日～ 9月30日	・三田駅周辺(市・警察署・交通安全協会・兵庫ブルーバイザーズ)で街頭啓発キャンペーン実施
年末の交通事故防止運動	12月1日～ 12月10日	・フローラ88屋外駐輪場前広場周辺(市・警察署・交通安全協会・県立有馬高等学校吹奏楽部、キッズ交通保安官)で交通安全セレモニーを実施
		・三田駅周辺(市・警察署・交通安全協会・その他団体)で街頭啓発キャンペーン実施

※期間外活動

保育園、幼稚園の園児への交通安全教室において、市内県立高校の家庭クラブ生徒が作成し、市へ提供された交通安全折り紙(ぶじかえる)を配布した  
イ 交通安全ポスターの募集

[対象]市内の小・中学校(全学年) [募集期間]令和5年7月～9月

[応募点数]289点(小学校:19校207点、中学校:2校82点)

ウ 自転車運転免許証交付制度の実施

[目的]参加・体験型の自転車交通安全教室を開催し、参加者に自転車運転免許証を交付して自転車事故の防止、交通安全意識の高揚を図ること。

年度	小学校	中学校	その他	計
29	1,163人	315人	3人	1,481人
30	1,101人	315人	0人	1,381人
1	1,099人	284人	0人	1,383人
2	287人	291人	0人	578人
3	669人	365人	0人	1,034人
4	535人	126人	0人	661人
5	594人	269人	0人	863人

(4)兵庫県自転車ヘルメット着用促進キャンペーン入力支援

[申請期間]令和5年12月1日～令和6年6月30日

[入力支援件数]107件

5 自衛官募集にかかる広報活動(法定受託事務)

神姫バス車内に自衛隊募集ポスターを掲示しての広報

[依頼先]神姫Bizプロデュース株式会社

[対象]市内を走る神姫バス64台

[掲示期間]令和5年11月1日～令和6年3月31日

[令和5年度自衛官募集実績]

種目	受験者	入隊・入校者
自衛官候補生	7名	2名
一般曹候補生	3名	1名
幹部候補生	5名	1名
防衛大学校	1名	1名
防衛医科大学校	3名	0名
航空学生	2名	0名
高等工科大学校	1名	1名
予備自衛官補	2名	1名
計	24名	7名